

6月の衛研検査情報

～概要版～

食品中の動物用医薬品検査結果（平成31年4月）

主な結果 畜産食品14検体について、検査を行ったところ、全ての項目で不検出でした。

農産物の残留農薬検査結果（平成31年4月）

主な結果 横浜市内産農産物14検体について、検査を行ったところ、こまつな1検体及びトマト1検体から計4種類4項目の農薬が検出されましたが、残留農薬の規格基準値を超えるものはありませんでした。

薬事検査結果（平成30年度）

主な結果 ダイエット、痩身等を標榜する11検体について、センナなど8項目の検査を行いました。また、強壮効果を標榜する19検体について、メチルテストステロンなど8項目の検査を行いました。その結果、いずれの成分も検出されませんでした。

家庭用品検査結果（平成30年度）

主な結果 「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」（家庭用品規制法）に関する検査で取り扱った検体数は60検体、延べ検査項目数は235項目でした。検査の結果、規制基準を超えた検体はありませんでした。

【トピックス】厚生労働省水道水質検査の外部精度管理調査への参加結果（平成30年度）

厚生労働省が実施する「水道水質検査精度管理のための統一試料調査」の平成30年度の結果及びこれまでの15年間（平成15年度～平成29年度）の結果を報告します。

主な結果 平成30年度は、Zスコア（データのばらつきを表す統計量）の絶対値は、0.13～0.90で「満足」、中央値からの誤差率の判定は、規定値である無機物±10%以内、有機物±20%以内で良好でした。過去15年間、変動係数の規定値を超えたことはありませんでした。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページでは、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 令和元年5月は、大麻（マリファナ）、EBウイルスと伝染性単核症、B群レンサ球菌感染症、ぎょう虫（蟻虫）症、水痘（水疱瘡）・带状疱疹、トキソプラズマ症、ライノウイルスに関するページのアクセスが多くみられました。総件数は217,074件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください



<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/geppo/inspection-inf.html>

横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。